

平成19年NACISIS-CAT/ILLワークショップ
「目録業務のマネージメント」グループ 第3班

目録業務のアウトソーシング —崖っぷち図書館の生き残り策?—

専修大学図書館 小泉啓子

小樽商科大学附属図書館 首藤佳子

首都大学東京図書館情報センター 古野奈央子

鳥取大学学術情報部図書館 松野宏



1. アウトソーシングの背景

- 大学全体の予算削減
- 図書館全体の予算削減
- 大学全体の人事異動
- 図書館全体の人員削減
- 業務体制の変化
- NACISIS/CATの普及(皮肉にも)



2. アウトソーシングの現状

導入状況

アウトソーシングの効果

アウトソーシングの問題点



導入状況

.文部科学省平成17年度
学術情報基盤実態調査結果報告より
「外部委託業務について」



8. 外部委託業務について OUTSOURCING LIBRARY OPERATIONS (文部科学省平成17年度学術情報基盤実態調査結果報告より)

区分 Section	全面委託		一部委託												
	実施大学数 Number of colleges and universities	実施率 Ratio	実施大学数 Number of colleges and universities	実施率 Ratio	外部委託業務										
					目録所在情報データベースの作成 Library catalog database compilation	一次情報(原文情報)データベースの作成 Primary source database compilation	電算機の運用 Computer utilization	複写 Photocopying	製本 Book binding	受付・閲覧 Library reception	清掃 Cleaning	警備 Guard	その他 Others		
	大学	%	大学	%	大学	大学	大学	大学	大学	大学	大学	大学	大学	大学	大学
国立大学															
A(16)	0	0.0	16	100.0	6	0	3	4	14	7	15	14	7		
B(19)	0	0.0	18	94.7	4	1	2	1	14	5	17	11	2		
C(26)	0	0.0	19	73.1	3	1	2	0	15	3	17	10	3		
D(26)	0	0.0	22	84.6	2	1	4	1	17	3	20	13	0		
計(87校) Total	0	0.0	75	86.2	15(17.2%)	3	11	6	60	18	69	48	12		
公立大学															
A(1)	0	0.0	1	100.0	1	0	1	0	0	0	1	1	1		
B(5)	0	0.0	5	100.0	3	1	2	2	3	3	5	4	3		
C(29)	1	3.4	24	82.8	7	0	3	1	15	4	19	15	3		
D(38)	0	0.0	34	89.5	9	1	15	3	21	3	24	23	7		
計(73校) Total	1	1.4	64	87.7	20(27.3%)	2	21	6	39	10	49	43	14		
私立大学															
A(20)	0	0.0	20	100.0	16	4	11	8	18	15	15	12	9		
B(51)	0	0.0	45	88.2	21	5	24	8	34	25	36	29	2		
C(236)	5	2.1	185	78.4	48	12	69	16	145	43	144	104	16		
D(249)	3	1.2	173	69.5	35	9	50	7	117	24	121	93	18		
計(556校) Total	8	1.4	423	76.1	120(21.5%)	30	154	39	314	107	316	238	45		
合計(716校) Grand total	9	1.3	562	78.5	155(21.6%)	35	186	51	413	135	434	329	71		

平成17年4月以降サービスを開始している大学においては、図書館を開設するに当たって、外部委託した業務について回答している。

導入状況

- ・平成19年度NACISIS-CAT/ILLワークショップ
参加大学図書館アンケート結果より



平成19年度NACSIS-CAT/ILLワークショップ参加大学図書館 アンケート結果

		アウトソーシング をしているか	導入の背景	委託内容	予算	人数	良かった点	問題点(注意点)	今後の予定
1	東邦大学医学メ ディアセンター大橋 病院図書室	していない							予定なし
2	首都大学図書情報 センター本館	している	人員削減 司書の不在	整理業務全般	図書館予算	職員4名 委託8名	滞貨資料がなくなった 多言語資料の整理	専任職員のスキル低下	
3	北海道大学附属図 書館	している	遡及入力のため に予算獲得	遡及入力及び ロシア語入力	NII遡及事業 図書館予算	派遣12名 職員8名	ロシア語入力の省力化 遡及入力の推進	最初の教育がたいへん レコード調整が多い	
4	大阪大学附属図書 館	している	経費削減か?	学生用図書のみ 目録データ、装備	資料費上乗 せ	人員配置は なし	担当じゃないのでわか らない	担当じゃないのでわから ない	
5	広島大学図書館部	している	遡及入力のため に予算獲得	遡及入力	NII遡及事業 図書館予算	?	職員が通常業務に専 念できる、大量デー タを短期間で処理できる	業者の作業チェックが不 充分	
6	山口大学情報環境 部	していない							特殊言語での導 入予定あり
7	専修大学図書館	している	経費削減	整理業務全般	図書館予算	職員5名 委託14名	整理業務の迅速化に より、利用者への資料 提供が早くなった	委託スタッフの定着率の低 下によるレベル低下、職場 環境の一体感消失、職員 のスキル低下	
8	東北大学附属図書 館工学分館	していない							予定なし
9	小樽商科大学附属 図書館	検討している	人員削減						新刊のみ資料経 費込みでの委託を 試行している
10	酪農学園大学附属 図書館	していない							予定なし
11	広島経済大学図書 館	している	人員削減	整理業務1部	図書館予算	契約職員2名 委託人数流 動的	人員削減に対応できた 新人職員のトレーニング になった	委託スタッフが変更にな った時ケアレスミスが増 えた	
12	大阪市立大学学術 情報総合センター	している	図書館全体が 導入	整理業務1部	図書館予算	職員:委託 2:3	強制的にマニュアルが 作成された	作業内容が独立してい るので細かいところをどう 指示していいかわからない	
13	立教大学図書館	している	人員削減 目録業務の合 理化	受入図書の大部 分	図書館予算	職員2名 委託12名	学内の目録業務が共 通化・標準化した	質の維持、マネー ジメント 職員の能力の有無、契約 内容が適正か?	
14	名古屋大学附属図 書館	している	予算削減	目録、遡及入力	図書館予算 及び総長裁 量経費	職員9名 派遣 6名	スムーズにしている	入札のため人材の確保が むずかしい	
15	大阪教育大学学術 情報課	していない							NIIの遡及事業を 実施する場合外注 の可能性あり
16	鳥取大学学術情報 部図書館	していない							非常勤職員削減 後予定あり

アウトソーシングの効果

- 安定した資料整理 (滞貨資料の整理)
- 多言語資料の整理
- 経費削減



問題点

- 作業従事者の定着率が低い
- 作業従事者の質
- 職場環境への影響(帰属意識が低いなど)
- 職員の目録スキルの低下



3. 失敗しないアウトソーシングのために

大学側ですること

委託業者ですること

NIIへ期待すること



大学側ですること

- 導入の方針を明確にする
何のためのアウトソーシングなのか
- 委託業者の選択は重要
厳密な仕様書の作成
 - NII仕様書モデル(案)を参照業者の実績調査
 - 価格だけで決めない
- 大学側と業者との業務内容を明確にする
- 業務内容の点検・評価
業務の質を維持するために
- マネージメント職員の確保、スキルアップ、教育
- 業務マニュアルの整備
- 予算確保のための戦略
(大学当局への要求や外部補助金の申請)
- 丸投げはしないー職員が育たない



委託業者に要求すること

- 適正価格の表示
- 作業従事者の教育・研修体制強化
- 作業チェック体制の強化
- 作業従事者の定着
作業従事者のモチベーションの向上



NIIへ期待すること

- 研修体制の強化
対象：職員及び作業従事者
研修形態：e-learning、オンライン遠隔講義、集合型
- 各大学図書館もしくは地区別（地区組織の形成が必要）へのバックアップ体制
- NACSIS/CATと書店システムとの連携機能
- サポート窓口
スキル向上のためのメーリングリストの運用など



4 . 理想的なアウトソーシング

- 大学側と業者との信頼関係に基づく協同作業
- 安価で高品質のアウトソーシング



実現へ向けて

大学間のコンソーシアム

共通する部分は連携できないか
情報(仕様書、実績内容など)を
共有して助け合おう！！

